

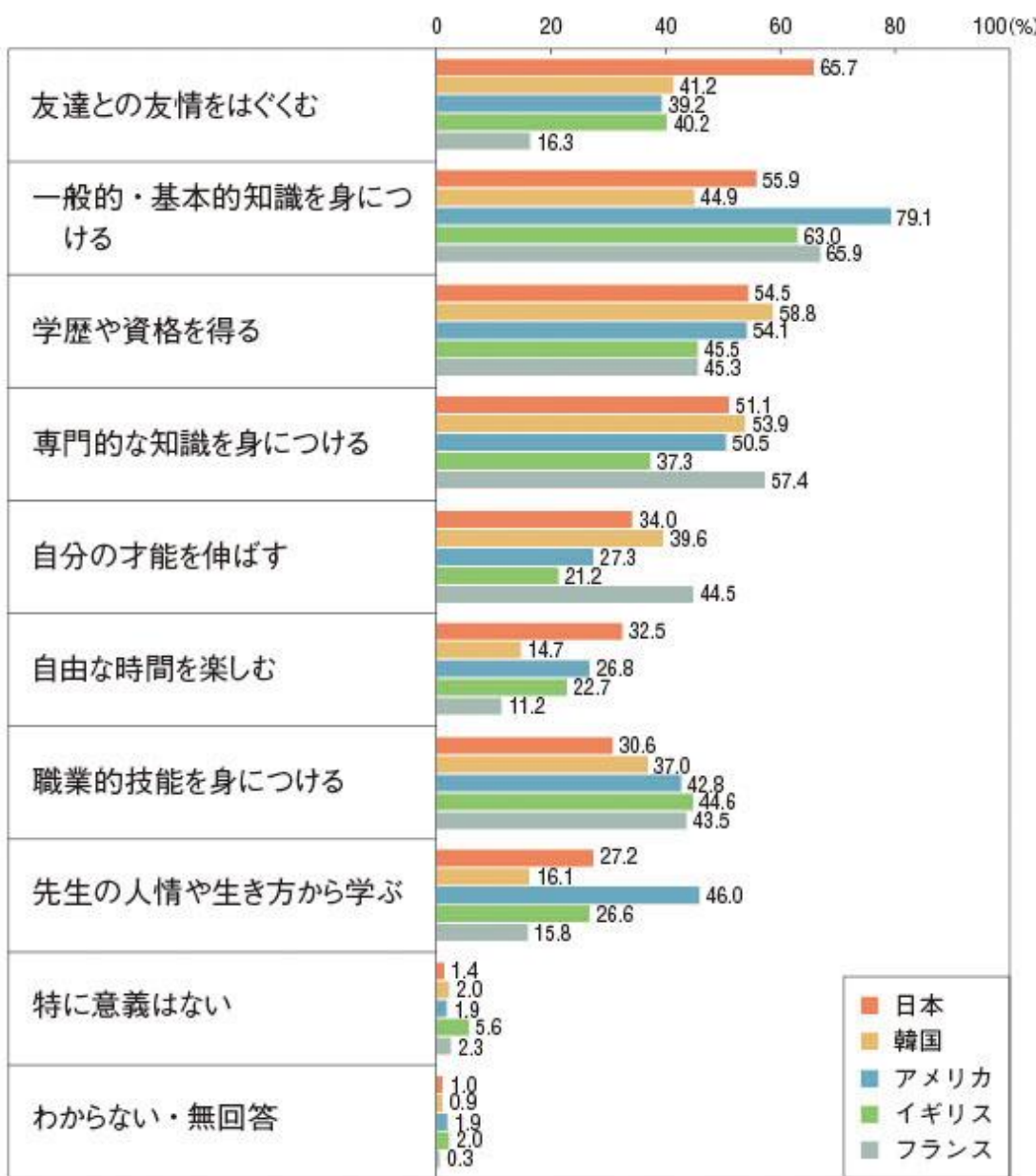
❖目標❖

- ・着眼点に基づき資料を正確に読み取り、読みとった情報を箇条書きで記す。
- ・読み取った情報から考えた自分の意見を述べる。

グラフの基本的な要素

- ①グラフのタイトル
- ②グラフの種類
- ③調査年月日【平成 年 月】
- ④出典
- ⑤調査対象
- ⑥項目
- 【など十項目
- の 歳から 歳

「学校に通う意義」国際比較



第8回世界青年意識調査（平成21年3月、内閣府）より 対象…18歳から24歳

グラフを読み取る際の着眼点

- ①【】が何番目か【】に着目する。（特に一位、最下位のところ）
- ②【】と欧米を比較する。
- ③グラフの【】が大きいものに着目する。

(1) グラフから読み取れることをメモしよう

三つの着眼点に基づきグラフを正確に読み取り、読み取った情報を箇条書きで記そう。

着眼点①

着眼点②

着眼点③



(2) グラフから分かることを整理しよう

読み取ったこと同士を組み合わせたり比べたりして、特に気になった情報を記そう。



(3) データをもとに考えたことを書き記そう

グラフから読み取ったこと、分かったことから考えた自分の意見を書こう。

※推測や意見は、文末表現を「だろう」「考えられる」「思う」「すべきた」などしよう。

✿振り返り✿

- ・着眼点に基づき資料を正確に読み取り、読みとった情報を箇条書きで記すことができたか。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆
- ・読み取った情報から考えた自分の意見を述べることができたか。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆
- ・反省・感想（2文以上）

❀目標❀

- ・読み取った情報（客観的事実）と、自分の意見を区別して書く。
- ・例を参考にして、二段落構成で三百字程度の意見文を書く。

（4）資料をもとに、文章にまとめよう

プリント①にメモした内容を、二段落構成のまとまりのある文章にしてみよう。

- 一段落目 … グラフから読み取った情報 …… プリント①（2）
- 二段落目 … 自分の意見 …… プリント①（3）

※読み取った情報について、すべてを書く必要はない。

《例》

第一段落（読み取った情報）

「学校に通う意義」国際比較のグラフから、日本では「〇〇」について、・・・ということが読み取れる。
さらに、「◇◇」については——である。一方、・・・ということもわかる。

第二段落（意見）

以上のことから、私は・・・だと考える。今後△△だと予想される。……すべきである。

注意

- ・段落の初めは一字空ける。
- ・大きく丁寧で濃い文字を書く。
- ・常体（～だ・～である）で統一して書く。小論文では、敬体（です・ます）は用いない。
- ・一人称は「私」を使う。「僕」や「自分」は使わない。
- ・話し言葉、若者言葉、省略語は使わない。
- ・接続詞（しかし、なぜなら、そのうえ、そのため、たとえば等）を効果的に使う。※「なので」「は接続詞ではない。」
- ・「～かもしれない」「～になってほしい。」など、あいまいな表現や他人任せな願望は書かない。

